2018年3月期(第71期)

決算説明会

2018年5月2日



エステー株式会社

代表執行役社長 鈴木 貴子

本日の説明内容



①決算概要のご報告

② 新年度の経営戦略

2018.3期 業績ハイライト <連結>



増収増益

	連結	計画比	前年比
売上高	486億円	98%	106%
営業利益	34億円	99%	122%
経常利益	34億円	105%	120%
親会社株主に帰属する当期純利益	24億円	107%	133%
親会社株主に係る 包括利益	35億円		

配当 31円

*前年24円

2018.3期 業績ハイライト <連結>



	2017.3期		2018.3期	
	実績	売上比	実績	売上比
売上高	459億円		486億円	_
売上原価	274億円	59.8%	285億円	58.7%
売上総利益	184億円	40.2%	200億円	41.3%
販売管理費	156億円	34.0%	165億円	34.1%
営業利益	28億円	6.2%	34億円	7.2%

2018.3期 業績ハイライト <カテゴリー別売上高> 🤰 🏗 🖰



カテニ	ゴリー	売上高	前年比	構成比
エアケア	(消臭芳香剤)	204億円	104%	42%
衣類ケア	(防虫剤)	93億円	104%	19%
サーモケア	(カイロ)	64億円	112%	13%
ハンドケア	(手袋)	55億円	105%	12%
ホームケア	(その他)	38億円	114%	8%
湿気ケア	(除湿剤)	29億円	100%	6%
合	計	486億円	106%	100%

2018.3期 営業利益の増減要因 <連結>



営業利益の増減 6.2億円増加

増加要因

販売数量増加等による増加

購買・製造原価等の低減

棚卸評価損・廃棄損等の減少

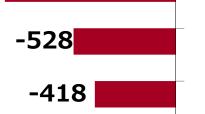
その他

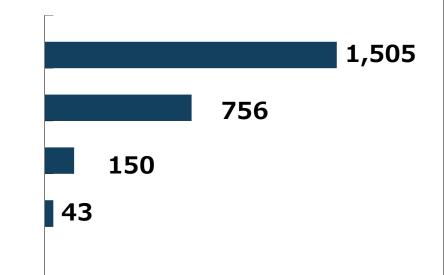
減少要因

マーケティング費の増加 -882

販売価格引下げによる減少

原材料価格の上昇等



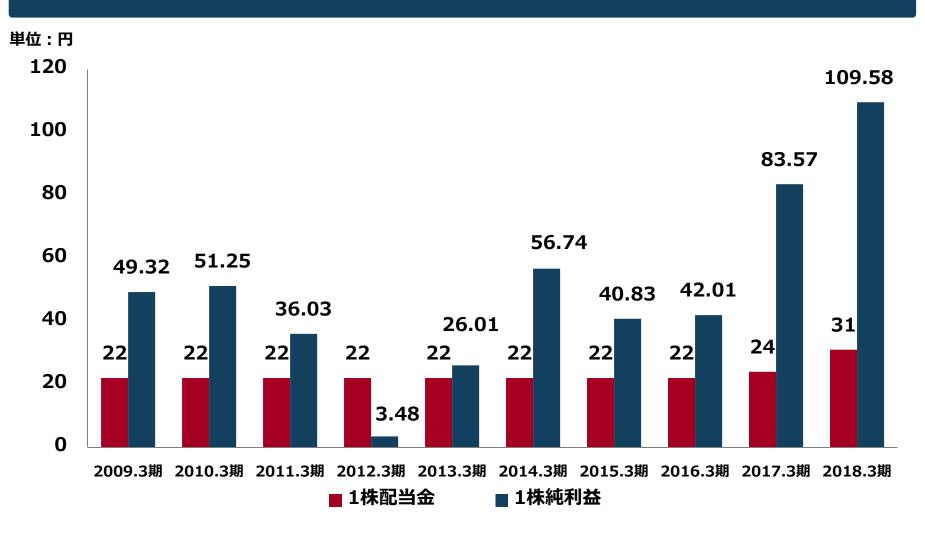


単位:百万円

2018.3期 配当 <連結>



期末配当 5円増配





高単価・高付加価値品が伸長

エアケア売上高

104.3%



(前年比)

新製品貢献









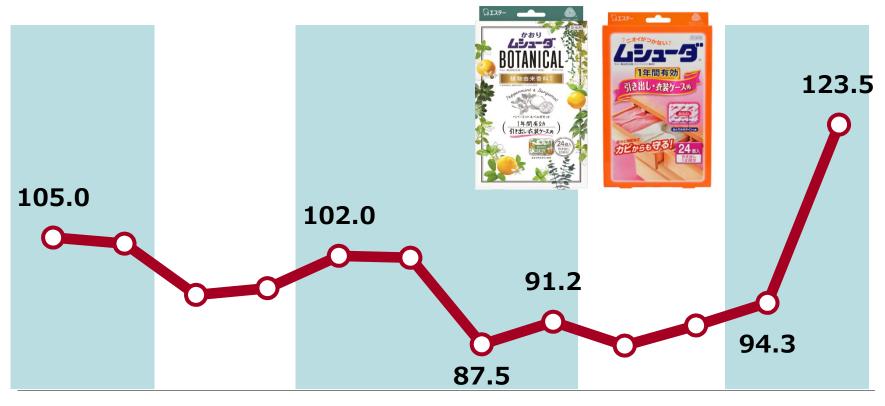


衣類ケア



秋は天候不順、春は新製品が寄与

防虫剤の販売金額前年比

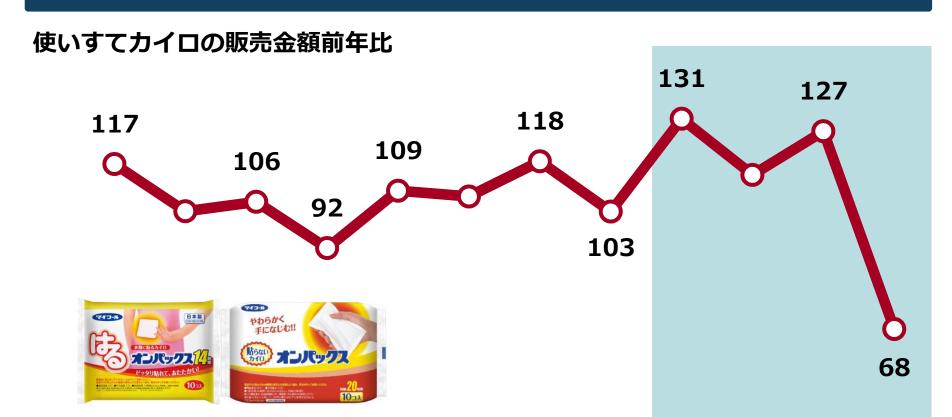


4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 2017年 2018年 出典:SRI

サーモケア



返品の改善、12月の冷込みで伸長



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 2017年 2018年 出典:SRI

ホームケア



新ブランド「洗浄力」好発進

トイレクリーナー市場を活性化 ノズル専用品上市で更なるブランド強化







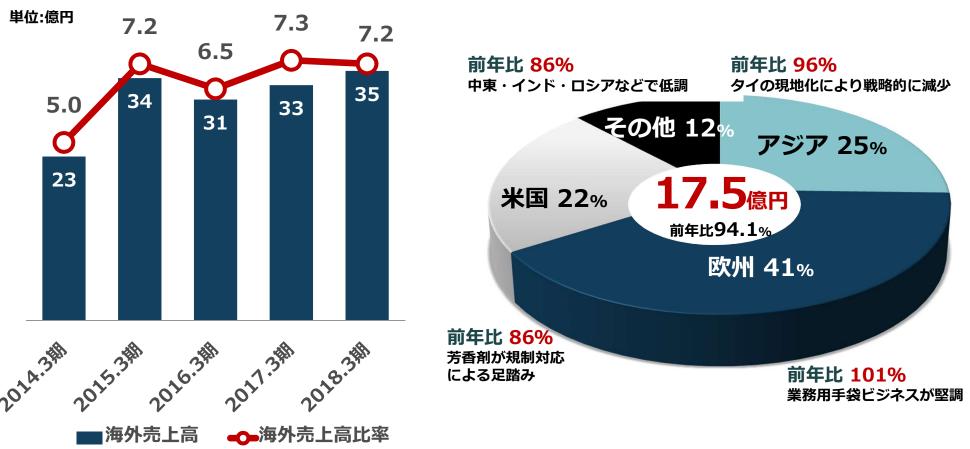
グローバル強化



タイの展開遅れ・輸出は規制への対応

海外売上高の推移(連結)

海外売上高の構成比(個別)



コスト削減の状況



売上原価率は改善

売上原価率

59.8%



58.7%

(2017.3期)

(2018.3期)

過年度総括



高収益体制の盤石化



① 決算概要のご報告

② 新年度の経営戦略

基本戦略



ブランド価値経営

成長の方向性



空気ビジネス = 企業価値創造の核

空気ビジネスの新機軸

新技術による市場創造

既存技術で新市場へ

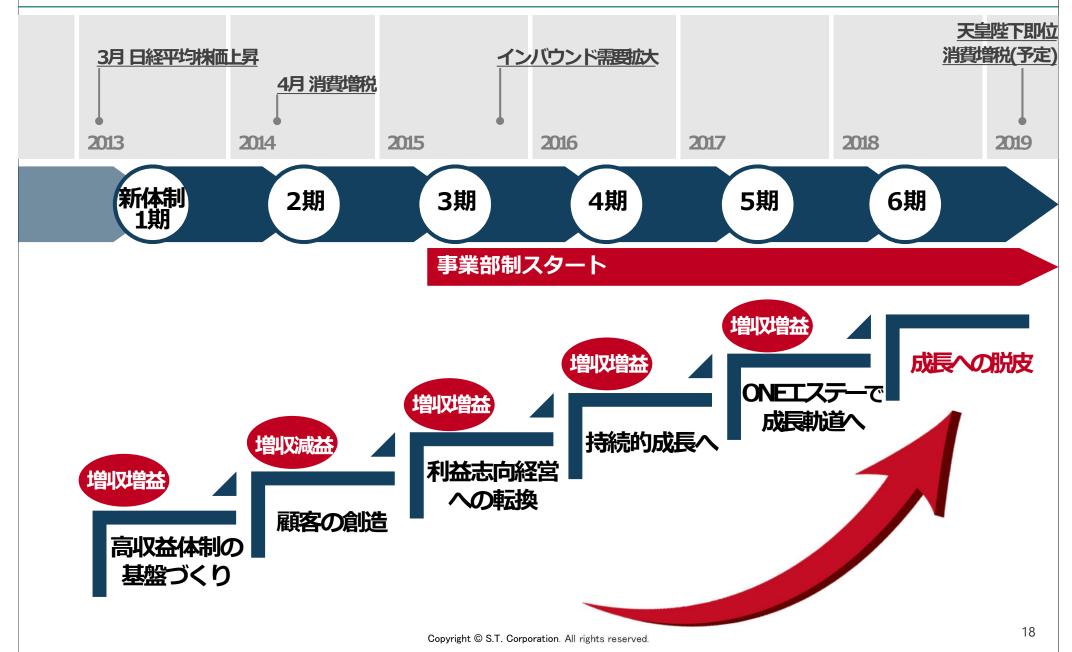
グローバル対応強化

社会の構造変化

グローバルの波

振り返り





成長の種まきから育成へ



- ・既存事業シェア No.1
- ・新分野・新市場
- ・海外事業
- ・サーモケア
- ・成長に向けた体制作り

既存事業シェア No.1に育成 ①



エアケアシェア NO.1

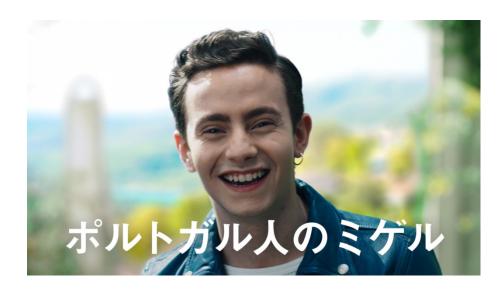
<規模拡大>

- ・新コンセプト開発
- ・高付加価値商品の拡充
- ・強力なCM展開









既存事業シェア No.1に育成 ②



衣類ケア シェアNO.1

くシェア拡大>

- ・「ムシューダ」世界売上No.1ブランド認定
- ・若年層の開拓(ボタニカル)
- ・大空間用、防虫カバー強化









※ユーロモニター・インターナショナル調べホームケア2018年度版:2017年防虫剤カテゴリー定義に拠る(小売金額ベース)

既存事業シェア No.1に育成 ③



ニッチ商材

<市場活性化>

洗浄力ブランド育成

・脱臭炭 新用途提案

・米唐番 使用者拡大







新分野・新市場を育成



国内の新しい成長分野

- ・業務用、介護用の拡大
- ・クリアフォレスト事業育成
- ・ECチャネルの体制強化







海外事業の育成



戦略エリア×特定事業

- ・ASEAN × エアケア海外初 C M 現地産新製品「カワイイプラス」戦略的なマーケティング投資
- ・中国 × エアケア
- ・欧米 × 手袋







サーモケアの育成



新しい温熱ビジネスの創造

カイロからサーモケアへ

- ・既存 国内シェア拡大
- ・新規 新分野 ヘルスケアへの挑戦
- ・海外 新規エリア攻略へ
- ・体制 新工場稼働準備





成長に向けた体制づくり



未来へ向けた体制構築

- ・生産体制の見直し
- ・ワークスタイル変革
- ・多様性(女性、外国人)
- ・人材育成 グローバル対応



2019.3期の方針



成長への脱皮

2019.3期 計画 <連結>



成長軌道へ

	連結	前年比
売上高	525億円	108.0%
営業利益	39.0億円	112.0%
経常利益	37.5億円	108.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	24.5億円	101.7%

配当 36円 予定 *配当性向32.4%



愛される会社を目指して



本日はありがとうございました。



エステー株式会社 http://www.st-c.co.jp/

【見通しに関する注意事項】 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、 記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。